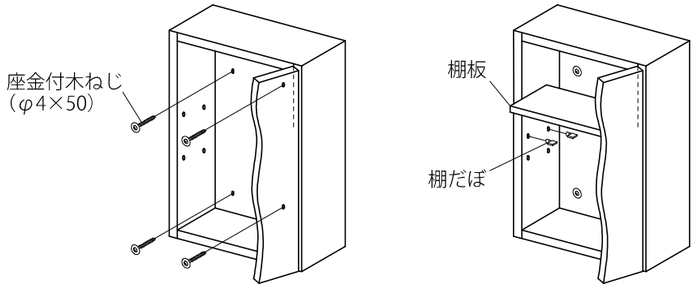
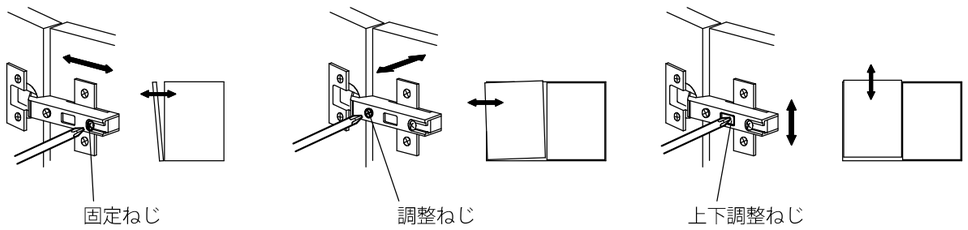
■壁収納棚の取付け

●所定の位置に座金付木ねじ（φ4×50：4本）で壁に固定します。
●側面の穴に棚だぼ（4個）を差込み、棚板を設置します。



■扉の調整

●扉にふぞろいが生じた場合、扉の調整を行ってください。
●前後調整
固定ねじをゆるめて扉を前後に動かし調整します。調整後は固定ねじを締直します。
●左右調整
固定ねじを締めたまま調整ねじを回して調整します。（調整後は固定ねじを増締めしてください）
●上下調整
上下の蝶番の上下調整ねじ（四角の窓の奥）をゆるめて扉を上下させ調整し、上下調整ねじを締直します。



●前後調整　**●左右調整**　**●上下調整**

施工後の確認

■手洗器、キャビネット等の固定の確認

（1）手洗器、キャビネット等の取付ねじが十分に締まっているか、ゆるみが無いことを確認します。
（2）手洗器、キャビネット等自体にガタツキ、壁とキャビネットの隙間が無いことを確認します。
（3）ねじのゆるみ、キャビネットのガタツキがある場合は必ずねじ位置を変えて取付け直します。

■吐水量、排水量の確認

（1）水栓から吐水させて、手洗器の外へ水はねがないよう止水栓を開閉して流量を調節します。
※吐水量は、毎分4リットルが目安です。

■給水、排水接続部の確認

（1）水栓金具から吐止水させ、止水栓、水栓金具の各接続部からの水漏れの無いことを確認します。
（2）トラップ、排水管の各接続部からの水漏れの無いことを確認します。

ジャニス工業株式会社

本　社　〒479 - 8577　愛知県常滑市唐崎町2丁目８８番地　TEL (0569) 35 - 3151

Janis

施工説明書

手洗器・手洗キャビ

〔L353タイプ〕

LTCK型
LTC型
AU型

施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様に保管頂くよう依頼してください。

FP511 20.04

安全のために必ずお守りください

※ここでは施工に際して守って頂かないと人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警告……取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意……取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性、および物的損害の発生が生じることが想定されます。

⚠……「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください）

⃠……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です）

❗……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です）

⚠ 警告

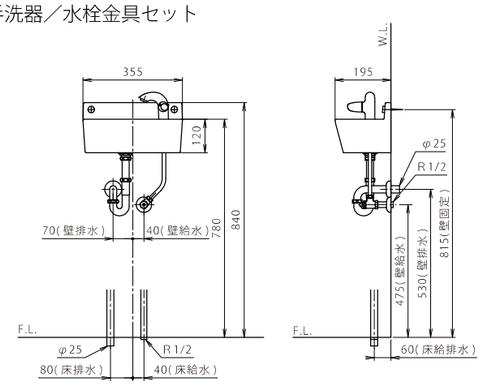
❗	給排水工事・電気工事は、関連する法規・規定に従って有資格者が行ってください。 ※漏水や火災、感電のおそれがあります。
❗	手洗器、キャビネット等の固定位置には、壁裏の補強をしてください。 ※取付物の落下、転倒によりケガをするおそれがあります。
⃠	浴室など高温多湿な場所や、水に浸る可能性がある床面には設置しないでください。 ※キャビネットの劣化、電気用品を使用する場合は感電のおそれがあります。
⃠	ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。 ※変色や変形、火災を起こすおそれがあります。
⃠	修理技術者以外の人は、絶対に修理・改造は行わないでください。 ※漏水や火災、感電のおそれがあります。

⚠ 注意

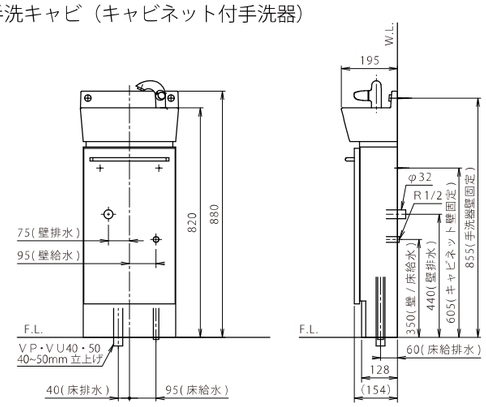
❗	給水は上水道に接続してください。 ※皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。また器具の故障につながります。
❗	工事完了後に、手洗器、キャビネット等の固定にガタツキが無いか確認してください。 ※使用中に落下してケガをするおそれがあります。
❗	工事完了後に、給排水管から漏水が無いか確認してください。 ※漏水により家財に損害を与えるおそれがあります。
❗	凍結のおそれがある地域では、凍結防止の工事を行ってください。 ※配管が凍結破壊し、家財に損害を与えるおそれがあります。
⃠	給水給湯管の接続時に、湯水を逆に配管しないでください。 ※火傷やケガをするおそれがあります。
⃠	製品に強い力や衝撃を与えないでください。 ※破損や故障、漏水の原因になります。手洗器は陶器製です。
❗	直射日光が当たる場合は必ずカーテン等で遮ってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。※変色や変形の原因になります。
⃠	不陸が5mm／2mを越える場所には施工しないでください。 ※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります。
⃠	酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、キャビネット等を拭かないでください。 ※変色や変形のおそれがあります。溶剤が付くと跡が残ることがあります。

寸法図

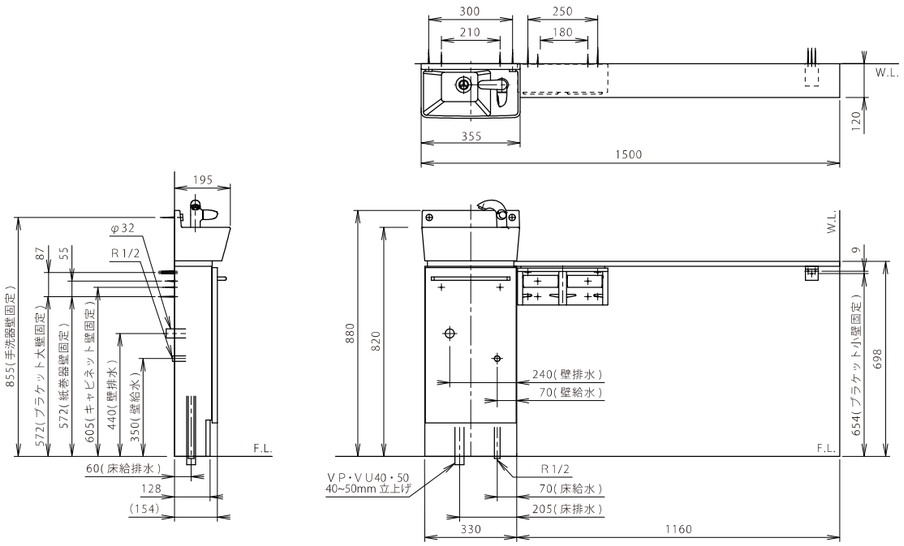
●手洗器／水栓金具セット



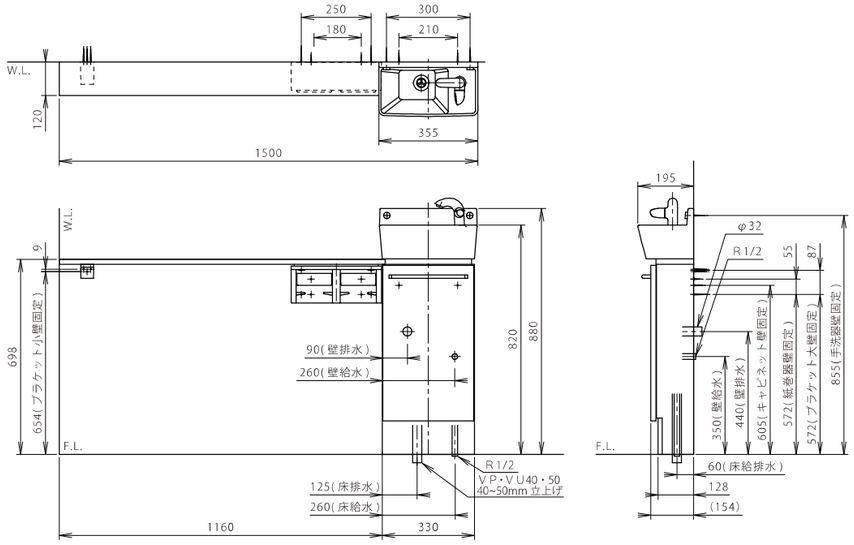
●手洗キャビ（キャビネット付手洗器）



●手洗キャビ＋カウンター付２連紙巻器（左勝手の場合）

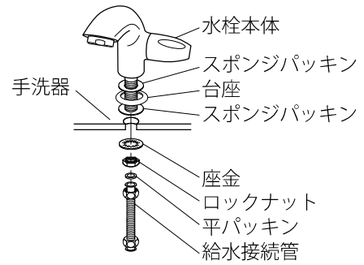


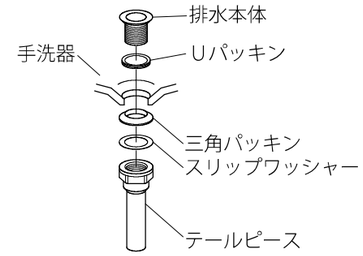
●手洗キャビ＋カウンター付２連紙巻器（右勝手の場合）



2）水栓金具、排水器具の取付け

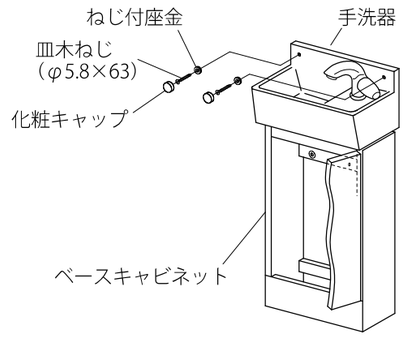
●水栓金具と排水金具を手洗器に取付けます。
※手動単水栓の取付けは、対辺24mmのレンチを使用してください。
※自閉水栓、自動水栓の設置詳細は各水栓金具の施工説明書をご覧ください。
※水栓金具から給水接続管までを先に取付けてください。（下図参照）





3）手洗器の取付け

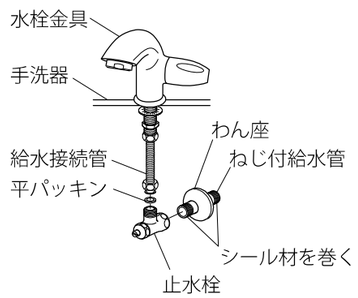
●手洗器をベースキャビネットに載せ、手洗器を固定金具（皿木ねじφ5.8×63、ねじ付座金：2組）で壁に固定し、化粧キャップをねじ込みます。
※皿木ねじは、手洗器の取付面に対して垂直にねじ込んでください。



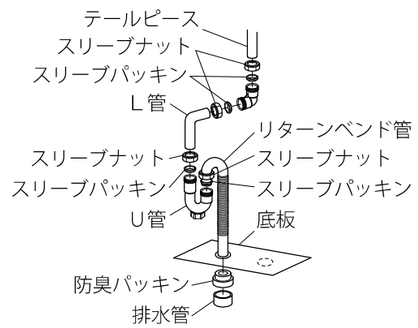
4）止水栓、排水トラップの接続

●配管の取出し位置に合わせ、底板に給水管用および排水管用の穴（φ40位）を開けます。
●止水栓を給水接続管に接続します。
●排水トラップを取付けます。
※止水栓は別売り品ですが、メンテナンス上、取付けてください。

●止水栓



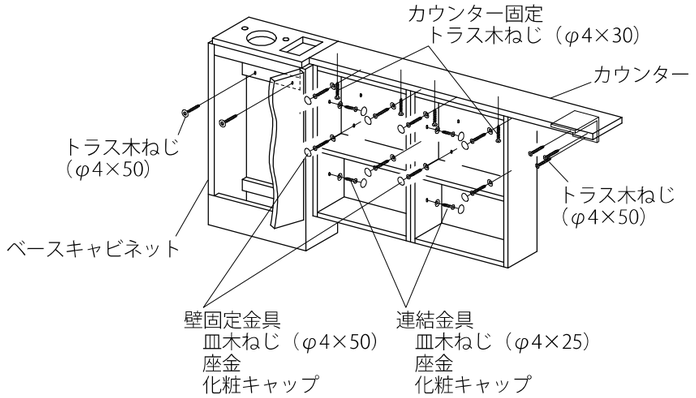
●排水トラップ



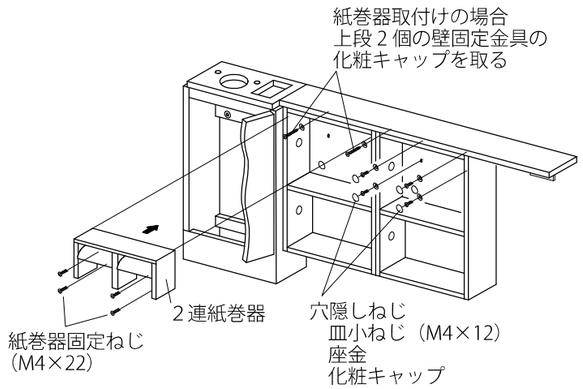
●オープンキャビを取付ける場合
・カウンターにブラケット（小）をトラス木ねじ（φ4×16：2本）で取付けます。
　※ブラケットの位置決めは施工型紙を使用してください。
・ベースキャビネットを所定の位置に仮置きします。
・ベースキャビネットを壁に合わせ、カウンターの位置を決めます。
・カウンターの水平を確認し、ブラケット(小）をトラス木ねじ（φ4×50：3本）で壁に固定します。
・ベースキャビネットをトラス木ねじ（φ4×50：2本）で壁に固定します。
・オープンキャビを壁に合わせ、さらにベースキャビネットの側面および、カウンター底面に合わせ、
　位置設定します。
　※カウンターが水平になるように確認してください。
・オープンキャビを壁固定金具：皿木ねじ（φ4×50、座金：4組）で壁に固定します。
　このとき、皿木ねじを座金の穴に通しながら取付けます。
・オープンキャビをベースキャビネットに連結金具：皿木ねじ（φ4×25、座金：2組）で連結します。
　このとき、皿木ねじを座金の穴に通しながら取付けます。
　※ねじを打つ側のキャビネットには、φ5の下穴を開けてから固定してください。
・連結金具と壁固定金具に化粧キャップを取付けます。
・オープンキャビとカウンターをトラス木ねじ（φ4×30：2本）で固定します。
・ブラケット（小）に化粧カバーを取付けます。
　※オープンキャビを取付ける場合は、カウンターの取付けにブラケット（大）は使用しません。

●オープンキャビに２連紙巻器を取付ける場合
・２連紙巻器を指定位置に設置し、オープンキャビの背板に当てます。
・２連紙巻器を紙巻器固定ねじ：小ねじ（M4×22：4本）で取付けます。
　※２連紙巻器に付属のトラス木ねじ（φ4×35：4本）は使用しません。
　※２連紙巻器を取付ける場合は、上段2個の壁固定金具に化粧キャップは取付けません。
　※２連紙巻器を取付ける場合は、ブラケット（大）は使用しません。

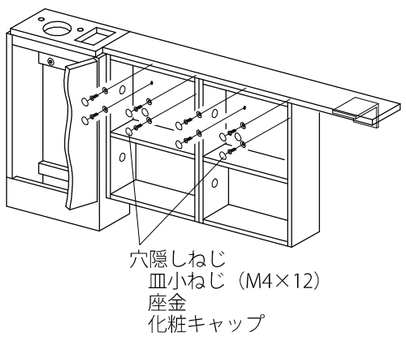
●オープンキャビに２連紙巻器を取付けない場合
・２連紙巻器取付け穴に穴隠しねじ：皿小ねじ（M4×12、座金：4組）を取付けます。
　このとき、皿小ねじを座金の穴に通しながら取付け、座金に化粧キャップを取付けます。
　※同梱の紙巻器固定ねじ：小ねじ（M4×22：4本）は使用しません。



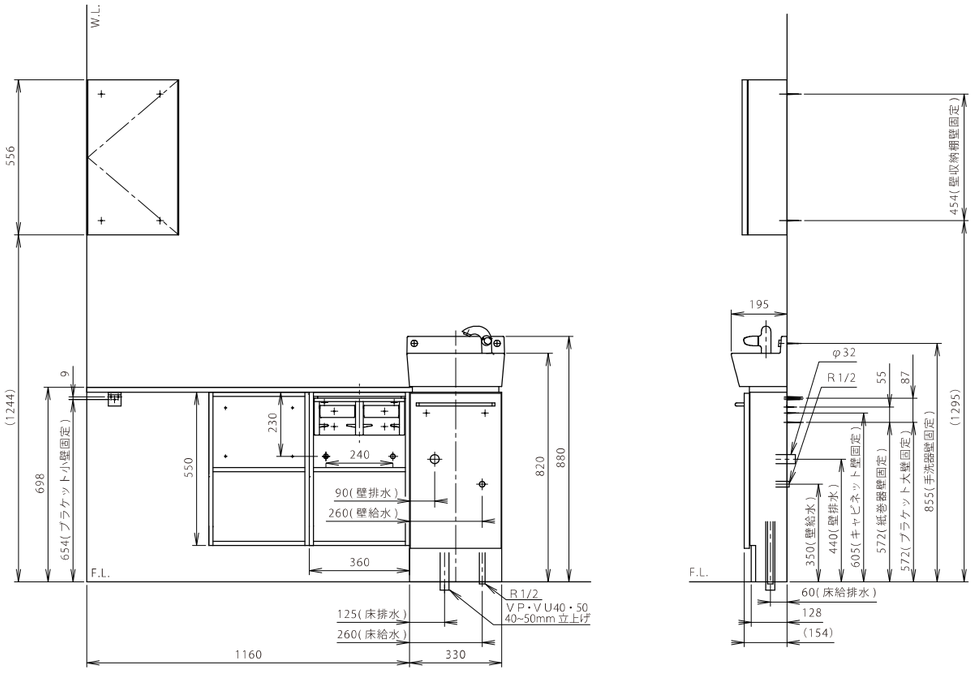
●２連紙巻器を取付ける場合



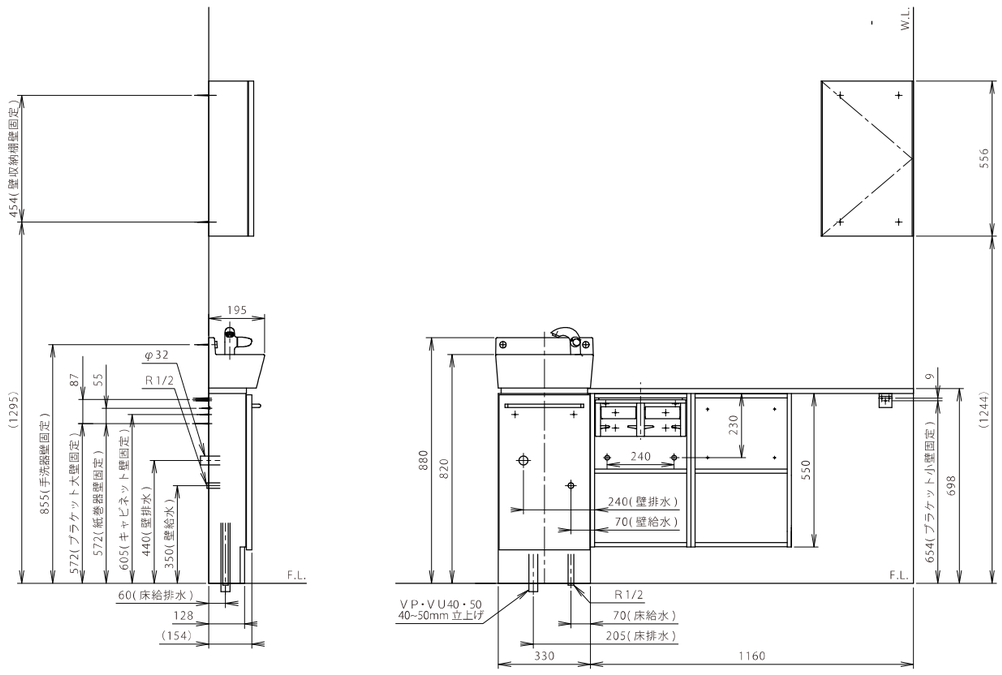
●２連紙巻器を取付けない場合



●手洗キャビ＋カウンター付２連紙巻器（オープンキャビ付、右勝手の場合）
●壁収納棚を設置する場合



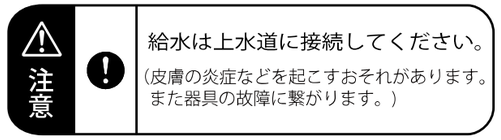
●手洗キャビ＋カウンター付２連紙巻器（オープンキャビ付、左勝手の場合）
●壁収納棚を設置する場合



施工前の確認

1．配管工事の確認

※給水管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取出してあることを確認してください。



給水は上水道に接続してください。

（皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。また器具の故障に繋がります。）

2．床面の確認

●設置する床は水平で著しい凹凸や不陸が無いことを確認してください。

●床面は強固でぐらつき、たわみが生じないことを確認してください。

※キャビネットがぐらついたり、取付精度（納まり）が悪くなるおそれがあります。

3．壁面工事の確認

〔壁材、下地材の確認〕

●キャビネットの取付可能な壁面は右図に示す乾式壁３種の壁面のみです。

〔補強木、仕上材の厚みの確認〕

●器具の取付けには、乾式壁の場合、壁面に補強木（幅90mm×厚み30mm以上）が指定の位置に必要です。あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。直接、壁の仕上材に器具の取付けはしないでください。

●補強木の柱や、間柱への取付部材（ねじ等）は、器具の固定強度（乾式壁の図を参照）と同等以上になるように種類、数を選定してください。

●補強木手前の仕上材は取付ねじを補強木に届かせるため、必ずトータルの厚みで12.5mm以下のものを用いてください。

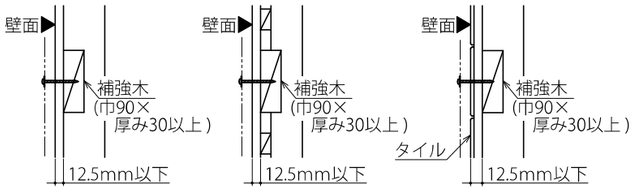
●湿式壁の場合は、市販のボードアンカー等を使用し、施工してください。

〔壁の不陸について〕

●器具の取付壁面の不陸は5mm／2m以下であることを確認してください。

※不陸がある状態で施工するとキャビネットがひずむ場合があります。

●ボード類直張り　●ボード類胴縁取付け　●タイル仕上げ



付属部品

手洗器

手洗器	1個
手洗器固定金具（壁用）	2個
水栓金具	1個
排水器具	1個
止水栓	1個
施工型紙	1個
施工説明書	1個

手洗キャビ

手洗器	1個
ベースキャビネット	1個
キャビネット底板	1個
水栓金具	1個
排水器具	1個
手洗器固定金具（壁用）	2個
壁固定金具	2個
取扱説明書	1個
施工説明書	1個

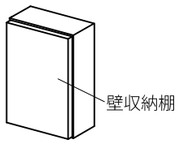
カウンター付２連紙巻器

カウンター	1個
２連紙巻器	1個
ブラケットＡセット（ブラケット（大））	1個
ブラケットＢねじセット	1個
ブラケット（小）	1個
化粧カバー	1個
施工型紙	1個
施工説明書	1個

オープンキャビ

キャビネット		1個
取付金具セット	壁固定ねじ	4個
	キャビネット連結ねじ	2個
	カウンター固定ねじ	2個
	連結ワッシャー	10個
	化粧キャップ	10個
	紙巻器固定ねじ	4個
	穴隠しねじ	4個
施工説明書		1個

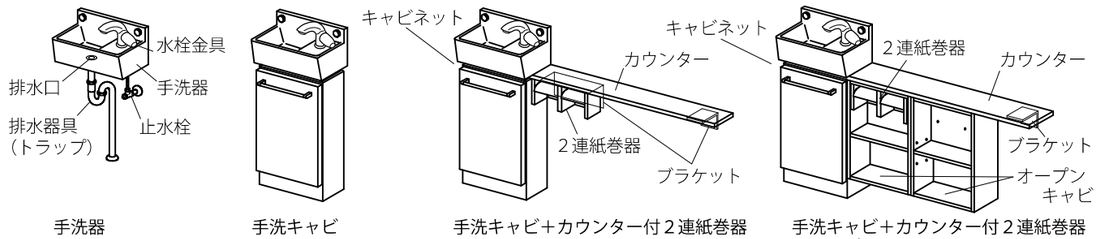
※オープンキャビに２連紙巻器を取付ける場合は、オープンキャビ付属の紙巻器固定ねじ（M4×22）で取付けてください。
（２連紙巻器付属の木ねじは使用しません）



壁収納棚

キャビネット	1個
棚板	1個
棚だぼ	4個
壁固定金具	4個
施工説明書	1個

■各部の名称

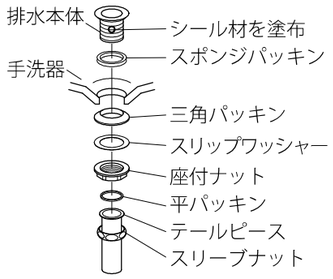


手洗器　手洗キャビ　手洗キャビ＋カウンター付２連紙巻器＋壁収納棚　手洗キャビ＋カウンター付２連紙巻器＋オープンキャビ

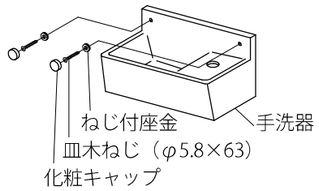
施工

■手洗器の施工

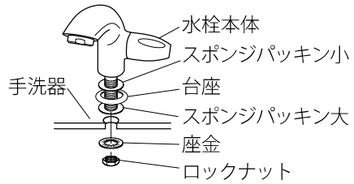
1）手洗器に排水器具を取付けます。
※排水本体の三角パッキンがあたるねじ部にシール材を塗布してください。



2）手洗器を固定金具（皿木ねじφ5.8×63、ねじ付座金：2組）で壁に固定し、化粧キャップをねじ込みます。
※皿木ねじは、手洗器の取付面に対して垂直にねじ込んでください。

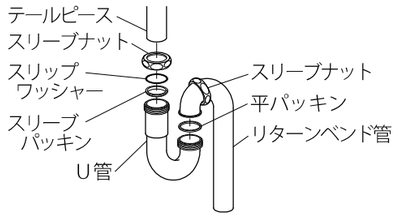


3）水栓金具を手洗器に取付けます。
※手動単水栓の取付けは、対辺24mmのレンチを使用してください。
※自閉水栓、自動水栓の設置詳細は各水栓金具の施工説明書をご覧ください。

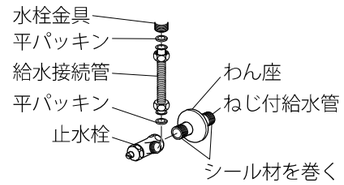


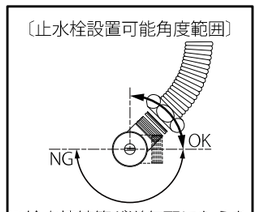
4）排水トラップおよび止水栓を接続します。

●排水トラップ



●止水栓





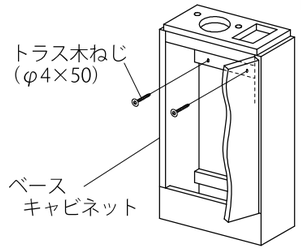
※給水接続管が逆勾配にならないように取付けてください。

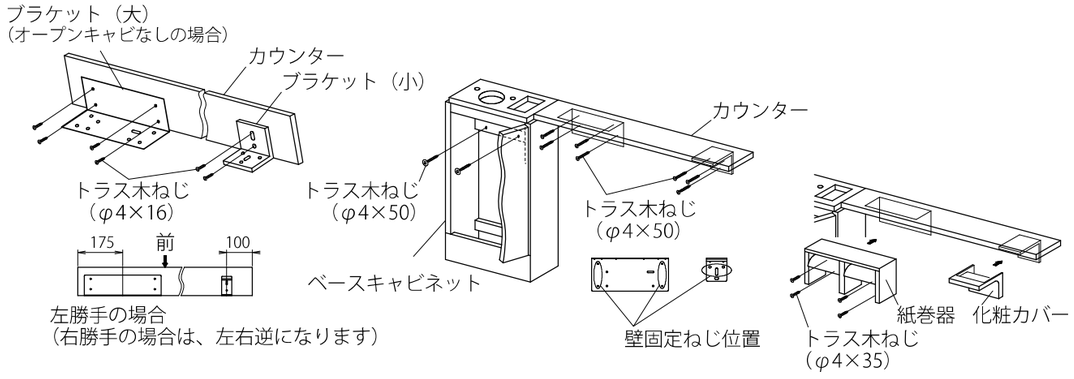
■手洗キャビの施工

1）キャビネット・カウンターの取付け

●カウンターなしの場合

・ベースキャビネットを所定の位置に置きトラス木ねじ（φ4×50：2本）で壁に固定します。



●手洗キャビ+カウンター付２連紙巻器の場合

・カウンターにブラケット（小）をトラス木ねじ（φ4×16：2本）で、ブラケット（大）をトラス木ねじ（φ4×16：4本）で取付けます。※ブラケットの位置決めは施工型紙を使用してください。
・ベースキャビネットを所定の位置に仮置きします。
・ベースキャビネットを壁に合わせ、カウンターの位置を決めます。
・カウンターの水平を確認し、ブラケット（小）をトラス木ねじ（φ4×50：3本）で壁に固定します。
・ベースキャビネットをトラス木ねじ（φ4×50：2本）で壁に固定します。
・ブラケット（大）をトラス木ねじ（φ4×50：4本）で壁に固定します。
・ブラケット（大）の穴に合わせて２連紙巻器を２連紙巻器に付属のトラス木ねじ（φ4×35：4本）で壁に固定します。
・ブラケット（小）に化粧カバーを取付けます。